

1. すべてローカル環境で運用する設定

サーバー（ライセンス、図面ファイル、電キャビ等）へ接続を行わず、ACAD-DENKI を利用する設定を記載します。尚、本手順は BricsCAD をベース CAD と使用する前提で記載しております。AutoCAD をご利用の場合は、インストール方法、ライセンス設定等、Autodesk 社のホームページをご確認ください。

1.1. インストール

利用するクライアント端末に新規で ACAD-DENKI をインストールする手順を記載します。既にインストール済の場合、この手順は不要です。

1.1.1. BricsCAD のインストール

1. 以下の URL を参考に BricsCAD のインストールを実施します。
https://www.bj-soft.jp/support/install/install_new1.html

1.1.2. ACAD-DENKI のインストール

1. 以下の URL を参考に ACAD-DENKI のインストールを実施します。
https://www.alfatech.jp/support/install/install_new.html

1.2. ライセンス

利用するクライアント端末の BricsCAD、ACAD-DENKI のライセンス設定手順を記載します。スタンドアロンライセンスで既にライセンスアクティベート済の場合、この手順は不要です。

1.2.1. BricsCAD のライセンス

1. 以下の URL を参考に BricsCAD のライセンスアクティベートを実施します。
<https://www.bj-soft.jp/support/activate/telework.html>

1.2.2. ACAD-DENKI のライセンス

【スタンドアロンライセンス】

1. 以下の URL を参考に ACAD-DENKI のライセンスアクティベートを実施します。
https://www.alfatech.jp/support/install/license_settings.html

【ネットワークライセンス】

ネットワークライセンスの場合、サーバーからライセンスを借用し、使用します。ライセンス借用・返却オプションツールをインストールする必要があります。

[ライセンス借用・返却オプションのインストール]

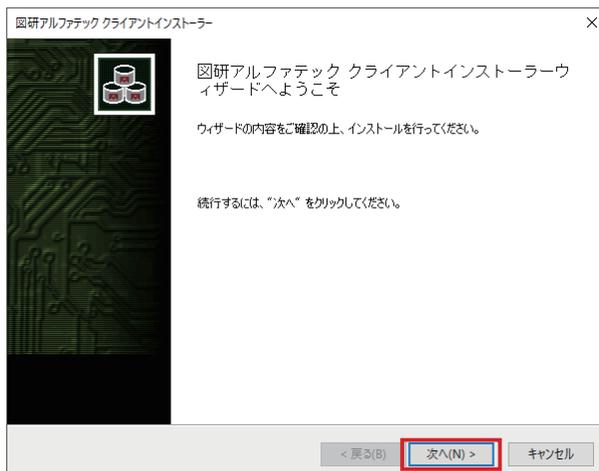
1. クライアント用インストールメディア内の Setup.exe を実行します。

インストールメディアがお手元にない場合は、下記 URL の《クライアント PC 用インストーラ》をダウンロードしてください。

<https://www.alfatech.jp/support/Delivery/>

2. インストールウィザードが表示されます。

"次へ"をクリックします。

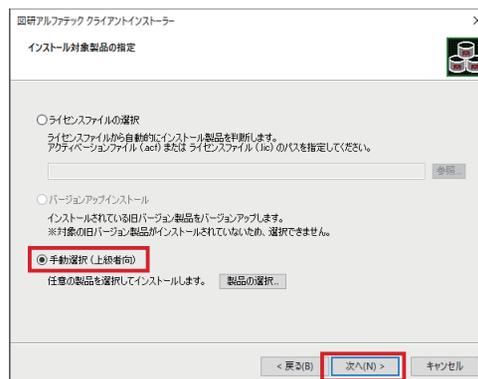


3. 《同意する》にチェックをいれ、"次へ"をクリックします。



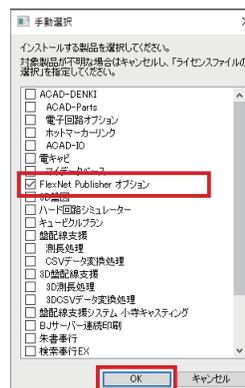
4. 《手動選択 (上級者向)》にチェックを入れ、

"製品の選択"をクリックします。

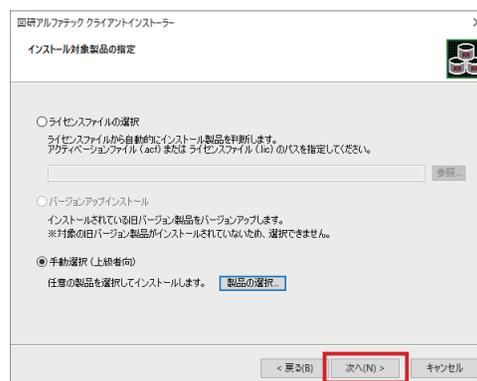


5. 《FlexNet Publisher オプション》にチェックを入れ、

"OK" をクリックします。



- インストールウィザードが表示されます。
"次へ" をクリックします。



- 確認ダイアログが表示されます。
"OK" をクリックします。

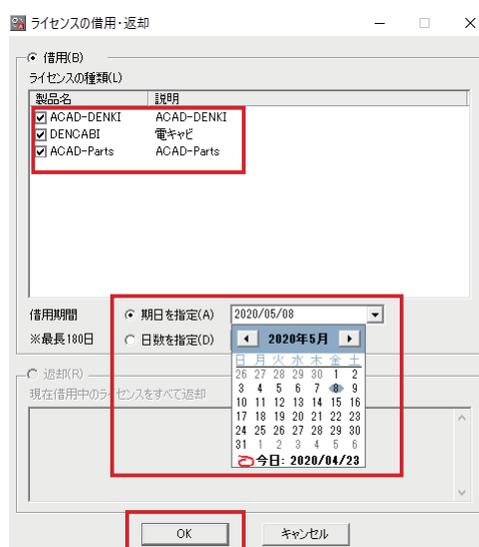


- インストール完了です。
"完了" をクリックします。

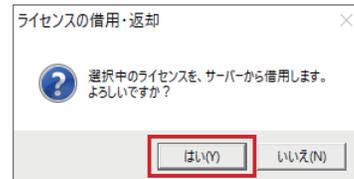


[ライセンスの借用]

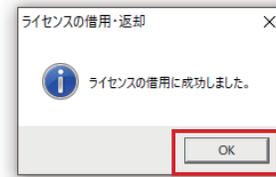
- スタートメニューの [A]-[Alfatech]-
[アルファテックランチャー] をクリックします。
- アルファテックランチャーが起動しますので、
[Alfatech]-[管理ツール]-[ライセンスの借用・返却]
をクリックします。
- ライセンスの借用・返却ダイアログが表示されます。
借用する製品名にチェックを入力し、借用期間とし
て「期日を指定」、「日数を指定」のいずれかを選択、
設定します。
- "OK" をクリックします。



- 確認のダイアログが表示されます。
"はい" をクリックします。



- 確認ダイアログが表示されます。
"OK" をクリックします。

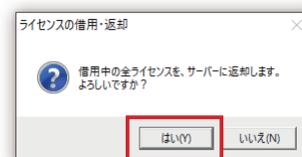


[ライセンスの返却]

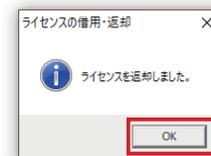
- スタートメニューの [A]-[Alfatech]-
[アルファテックランチャー] をクリックします。
- アルファテックランチャーが起動しますので、
[Alfatech]-[管理ツール]-[ライセンスの借用・返却]
をクリックします。
- ライセンスの借用・返却ダイアログが表示されます。
ダイアログ下部の "返却" にて借用期間を確認する
ことができます。
- 返却する場合、"OK" をクリックします。



- 確認ダイアログが表示されます。
"はい" をクリックします。



- 確認ダイアログが表示されます。
"OK" をクリックします。



※借用期間満了するまで使用する場合は、返却処理は
必要ありません。

1.3. 環境ファイル

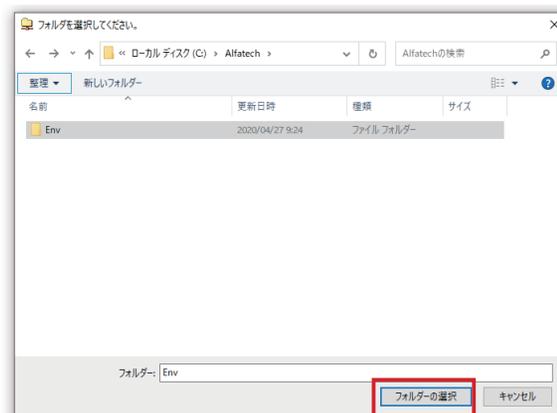
環境ファイルをクライアント端末に移行する手順を記載します。

1.3.1. 環境ファイルの参照先変更

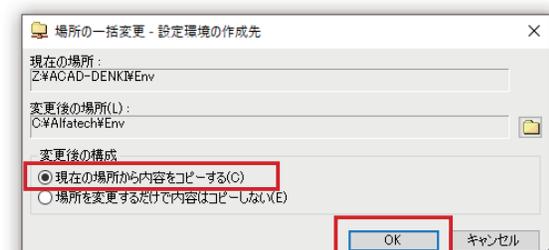
1. スタートメニューの [A]-[Alfatech]-
[アルファテックランチャー] をクリックします。
2. アルファテックランチャーが起動しますので、
[Alfatech]-[管理ツール]-[場所の確認と一括変更]
をクリックします。
3. 場所の確認と一括変更ダイアログが表示されます。
設定環境の作成先右のフォルダアイコンをクリック
します。
4. 場所の一括変更 - 設定環境の作成先ダイアログが
表示されます。
フォルダアイコンをクリックします。



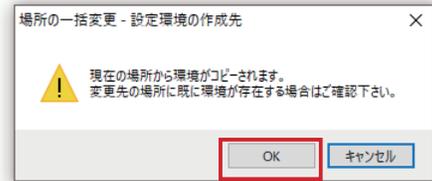
5. 変更後の設定環境の作成先を選択し、
"フォルダの選択" をクリックします。



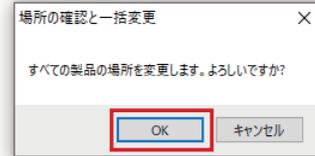
6. 場所の一括変更 - 設定環境の作成先ダイアログに
戻ります。《現在の場所から内容をコピーする》に
チェックを入れ、"OK" をクリックします。



7. 確認ダイアログが表示されます。
"OK" をクリックします。



8. 確認ダイアログが表示されます。
"OK" をクリックします。



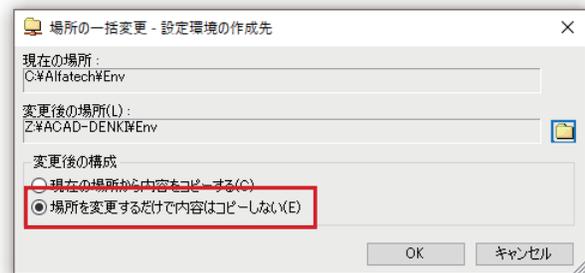
7. 場所の確認と一括変更ダイアログで、
"シンボル庫"," スクリプトテンプレートの作成先 "
についても、3. ~ 6. の手順を実行します。

1.3.2. ローカル作業終了後のサーバへの接続変更

1.3.1. と同様の手順でサーバ上の環境ファイルに接続
してください。

【注意】

場所の一括変更 - 設定環境の作成先ダイアログにて、
《場所を変更するだけで内容はコピーしない》に
チェックを入れてください。



1.4. 電キャビ

電キャビについてはテレワーク等による一時的なローカル環境での使用は推奨いたしません。履歴編集機能を使用したい等どうしても必要な場合、以下の手順を実施します。

1.4.1. 図面庫のコピー

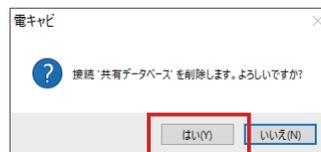
1. 共有サーバーで管理している図面庫をエクスプローラ等でクライアント端末にコピーします。
図面庫のコピーについては、必要なフォルダのみで問題ありませんが、階層構造は維持してください。

1.4.2. マイデータベースの有効化

1. スタートメニューの [A]-[Alfatech]-[アルファテックランチャー] をクリックします。
2. アルファテックランチャーが起動しますので、[Alfatech]-[管理ツール]-[電キャビ]-[接続設定] をクリックします。
3. 電キャビデータベース接続設定ダイアログが表示されます。《共有データベースの一覧》に表示されている設定行を選択し、"削除" をクリックします。



4. 確認ダイアログが表示されます。
"はい" をクリックします。

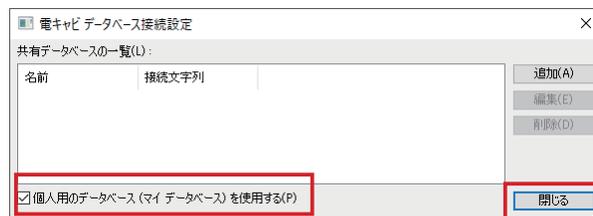


5. 共有データベースの設定が削除されます。
《個人用のデータベース (マイデータベース) を使用する》にチェックを入れます。

《個人用のデータベース (マイデータベース) を使用する》がグレイアウトされ、チェックできない場合、クライアント用インストールメディア内の下記 .exe ファイルを実行します。

\\MISC\MYDB\MSDESetup.exe

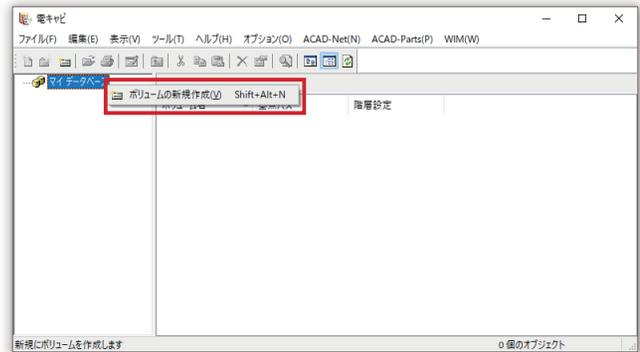
6. "閉じる" をクリックします。



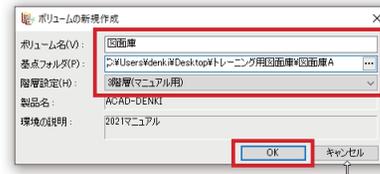
1.4.3. マイデータベースでの電キャビ管理

1. 電キャビを起動します。

2. "マイデータベース" を右クリックします。
表示されるメニューの [ボリュームの新規作成] をクリックします。

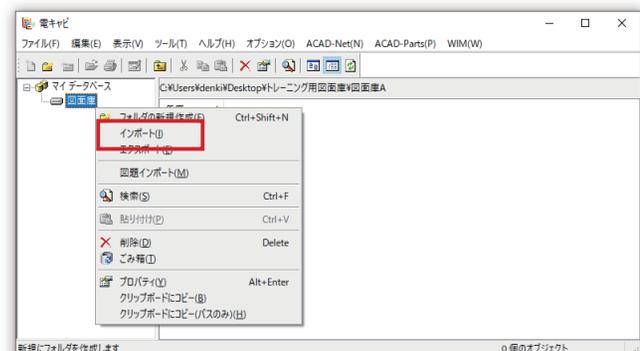


3. ボリュームの新規作成ダイアログが表示されます。
以下を設定します。
ボリューム名：任意の名前
基点フォルダ：クライアント端末にコピーした
図面庫の基点フォルダ
階層設定：使用している階層設定

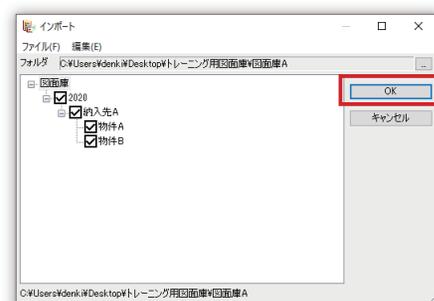


4. "OK" をクリックします。

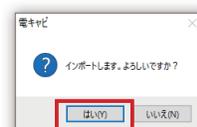
5. 電キャビ画面に戻ります。
マイデータベースの下階層にボリュームが作成されていることを確認します。
ボリュームを右クリックして表示されるメニューの [インポート] をクリックします。



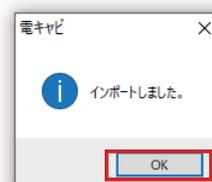
6. インポートダイアログが表示されます。
電キャビに取り込みたいフォルダが黒枠のチェックマークで表示されていることを確認し、"OK" をクリックします。



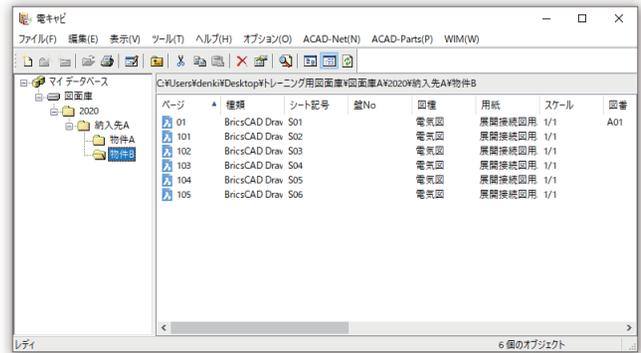
7. 確認ダイアログが表示されます。
"はい" をクリックします。



8. 確認ダイアログが表示されます。
"OK" をクリックします。

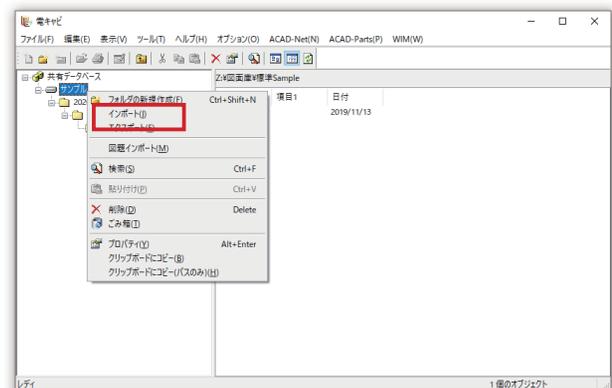


- 電キャビから図面ファイルが確認でき、
図面ファイルをダブルクリックすると ACAD-DENKI
が起動することを確認します。

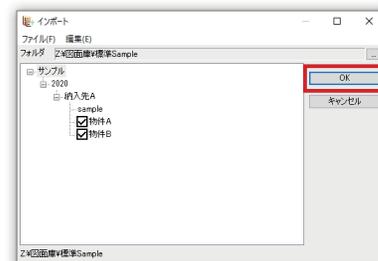


1.4.4. ローカル作業終了後のサーバへの接続方法

- ローカル作業中に作成したフォルダおよび図面を」
エクスプローラ等でサーバの所定の場所にコピー
します。
- 電キャビを起動し、1. でコピーしたフォルダ、
図面を含むボリュームを右クリックします。
- メニューから [インポート] をクリックします。



- インポートダイアログが表示されます。
インポート対象のフォルダが黒枠のチェックで表示
されていることを確認します。
- "OK" をクリックします。
- インストールが完了します。



【注意】

電キャビをサーバ管理に戻す場合は、本手順書の順番通り、1.3. 環境ファイルの手順を先に実行してください。
共有データベースへの接続設定は環境ファイルが記憶しているため、環境ファイルの参照先をサーバに戻すことで、共有データベースへの接続が可能です。

1.5. 部品マスタ

ACAD-Parts の部品マスタを環境ファイル内に移行する手順を記載します。

尚、マスタとなるサーバとの部品マスタの不一致が発生するためローカル環境での部品マスタ更新は推奨いたしません。

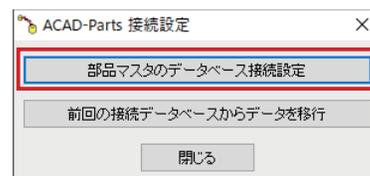
上記に留意し、下記手順を実施します。

1.5.1. 部品マスタのローカル管理設定

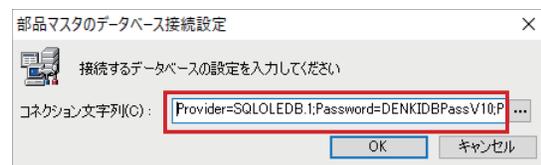
1. スタートメニューの [A]-[Alfatech]-
[アルファテックランチャー] をクリックします。

2. アルファテックランチャーが起動しますので、
[Alfatech]-[管理ツール]-[ACAD-Parts]-[接続設定] をクリックします。

3. ACAD-Parts 接続設定ダイアログが表示されます。
"部品マスタの接続設定" をクリックします。



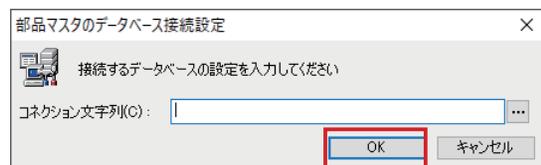
4. 部品マスタのデータベース接続設定ダイアログが表示されます。
《コネクション文字列》に記載されている文字列を選択し、削除します。



《コネクション文字列》に何も記載がない場合、すでに部品マスタが環境ファイル内に保存されている状態ですので、以下の手順は不要です。

5. "OK" をクリックします。

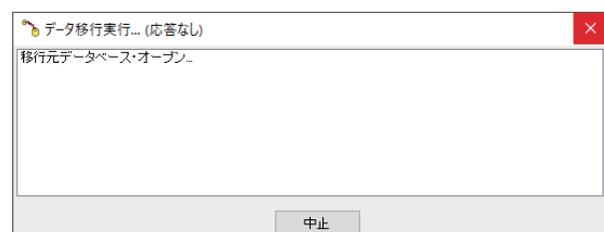
6. "閉じる" をクリックします。



7. ACAD-Parts 接続設定ダイアログに戻るので、
《前回の接続データベースからデータを移行》をクリックします。



8. データ移行ダイアログが表示されます。
自動で移行処理が実行されます。
処理が終了すると自動でダイアログが閉じられます。



1.5.2. ローカル作業終了後のサーバへの接続方法

1.4. 電キャビ同様、1.3. 環境ファイルの手順を先に実行してください。

サーバ上の部品マスタへの接続設定は環境ファイルが記憶しているため、環境ファイルの参照先をサーバに戻すことで、サーバ上の部品マスタへの接続が可能です。